



2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年3月17日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
コード番号 9636 URL <https://corporate.kin-ei.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 作田 憲彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森本 清士 (TEL) 06(6632)4553
定時株主総会開催予定日 2026年4月21日 配当支払開始予定日 2026年4月22日
有価証券報告書提出予定日 2026年4月20日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期の業績 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期	3,771	5.6	301	6.7	311	6.6	200	29.6
2025年1月期	3,571	0.0	282	10.5	292	14.9	154	△0.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年1月期	71.84	—	7.5	5.2	8.0
2025年1月期	55.44	—	6.1	5.0	7.9

(参考) 持分法投資損益 2026年1月期 一百万円 2025年1月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年1月期	6,021	2,759	45.8	989.80
2025年1月期	5,923	2,580	43.6	925.62

(参考) 自己資本 2026年1月期 2,759百万円 2025年1月期 2,580百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年1月期	630	△385	△197	134
2025年1月期	526	△311	△203	87

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00	27	18.0	1.1
2026年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00	27	13.9	1.0
2027年1月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		18.6	

3. 2027年1月期の業績予想 (2026年2月1日～2027年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,770	△5.8	80	△55.2	90	△50.3	50	△61.2	17.93
通 期	3,640	△3.5	230	△23.7	240	△23.0	150	△25.1	53.80

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期	2,821,000株	2025年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期	33,034株	2025年1月期	32,939株
③ 期中平均株式数	2026年1月期	2,788,000株	2025年1月期	2,788,090株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するもとで、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響、海外における政情不安や米国の通商政策の影響などによる景気の下押しリスクが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しております。

このような情勢のもと、当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度の高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図りましたところ、売上高は、前期に比較して5.6%増の3,771,317千円となりました。さらに、諸経費全般に亘って鋭意抑制に努めました結果、営業利益は6.7%増の301,544千円、経常利益は6.6%増の311,555千円、当期純利益は29.6%増の200,279千円となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、「あべのアポロシネマ」において“『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』第一章 猗窩座再来”“国宝”“名探偵コナン 隻眼の残像(せきがんのフラッシュバック)”“ズートピア2”“劇場版『チェンソーマン レゼ篇』”“ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-”“8番出口”“劇場版『TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション』”“映画ドラえもん のび太の絵世界物語”“ジュラシック・ワールド／復活の大地”などの作品を上映して観客誘致に努めました。また、「あべのハルカス」「あべのキューズモール」「天王寺ミオ」などの周辺商業施設と連携したタイアップイベントを積極的に開催し、販売促進を図りました。さらに、「スクリーン1」「スクリーンプラスワン」「ホワイエ」の空調機等の更新、「スクリーン5」「スクリーン6」の座席のリニューアル及び「スクリーン1」の天井照明のLED化と壁面のファブリック貼替工事を実施する一方、従業員の接遇力を高めるための教育に注力するなど、より快適にご鑑賞いただけるように努めました。また、娯楽場事業におきましては、「あべのアポロシネマ」と一体となった集客を一層推進いたしました結果、部門全体の収入合計は、1,712,078千円となり、営業原価控除後では224,729千円の営業利益となりました。

不動産事業部門におきましては、「きんえいアポロビル」において、トイレリニューアル、空調・給排水設備にかかる整備・更新、監視カメラ増設・更新等を実施し、ビルの安全性、快適性の向上を図りました。「あべのルシアスにおいて」、トイレリニューアル、電気室設備・中央監視設備及び空調・給排水設備の更新、防火シャッターの改修等に計画的に取り組み、より安全で快適なビルづくりを推進しました。そのうえで、空室部分への後継テナント誘致や賃貸借契約更新時等の賃料改定に注力するなど賃貸収入の確保に努めました結果、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めた部門全体の収入合計は2,059,238千円となり、営業原価控除後では446,050千円の営業利益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産は、前事業年度末に比較して98,860千円増加し、6,021,988千円となりました。これは短期貸付金の増加54,056千円等によるものであります。

また、負債は前事業年度末に比較して79,992千円減少し、3,262,453千円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金の減少233,750千円等によるものであります。

純資産につきましては、当期純利益の計上額が支払配当額を上回ったため、前事業年度末に比較して178,852千円増加し、2,759,534千円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動による収入が投資活動及び財務活動による支出を上回ったため、前事業年度末に比較して47,704千円増加し、当事業年度末は134,784千円となりました。

また、当期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度において営業活動で得られた資金は、税引前当期純利益の計上及び減価償却費等により630,645千円となりました。前事業年度と比較しますと、その他の流動負債の増加等により103,720千円収入額が増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動で使用了資金は、固定資産の取得等により385,924千円となりました。前事業年度と比較しますと、短期貸付金の増加等により74,183千円支出額が増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動で使用了資金は、長期借入金の返済等により197,016千円となりました。前事業年度と比較しますと、6,335千円支出額が減少しております。

(4) 今後の見通し

今後につきましては、シネマ・アミューズメント事業部門では、あべの・天王寺エリア唯一の映画館「あべのアポロシネマ」への一層の集客を目指し、魅力ある作品の上映に努めるとともに、安心・快適な環境で映画を楽しんでいただけるように計画的な設備等の更新に取り組んでまいります。さらに、周辺商業施設との共同販売促進策を積極的に推進し、また、簡単・便利な「チケット予約システム」や映画会員制度「アポロシネマメンバーズ」を積極的にアピールし、集客に努めてまいります。

また、不動産事業部門におきましては、テナント入居率の維持・向上による賃貸収入の確保を図るのとはもとより、引き続き設備更新・改良工事、トイレリニューアル等を計画的に進めるなど、ビルのさらなる機能向上を図るとともに、省エネルギー化にも十分に配慮し、より安全で快適な環境づくりに努めてまいります。

次期(2027年1月期)の業績見通しにつきましては、おもに現時点で公開予定の映画作品に基づく収入が当事業年度に比べて減少すると予想されることから、売上高3,640百万円(前期比3.5%減)、営業利益230百万円(前期比23.7%減)、経常利益240百万円(前期比23.0%減)、当期純利益150百万円(前期比25.1%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当事業年度 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	87,080	134,784
売掛金	104,448	106,206
契約資産	7,580	7,230
商品	4,411	4,973
前払費用	7,723	9,692
短期貸付金	644,881	698,938
未収入金	1,765	2,132
その他	50,923	43,782
貸倒引当金	△730	-
流動資産合計	908,084	1,007,740
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,754,692	2,714,670
機械及び装置（純額）	100,978	88,646
工具、器具及び備品（純額）	72,989	101,669
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	-	3,790
有形固定資産合計	4,052,408	4,032,525
無形固定資産		
ソフトウェア	668	1,786
電話加入権	1,066	1,066
無形固定資産合計	1,735	2,853
投資その他の資産		
投資有価証券	23,831	33,686
長期前払費用	21,259	21,674
差入保証金	890,112	899,138
その他	25,697	24,370
投資その他の資産合計	960,900	978,869
固定資産合計	5,015,043	5,014,248
資産合計	5,923,128	6,021,988

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当事業年度 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,981	127,486
短期借入金	250,000	312,500
1年内返済予定の長期借入金	243,750	10,000
未払金	195,310	226,094
設備関係未払金	123,959	108,148
未払費用	16,633	17,210
未払法人税等	54,312	52,952
契約負債	953	-
預り金	82,918	187,687
前受収益	177,047	171,358
賞与引当金	10,700	10,800
資産除去債務	-	38,189
流動負債合計	1,284,567	1,262,429
固定負債		
長期借入金	-	2,500
繰延税金負債	24,004	13,380
退職給付引当金	70,568	69,088
受入保証金	1,580,404	1,568,146
資産除去債務	382,901	346,909
固定負債合計	2,057,878	2,000,024
負債合計	3,342,446	3,262,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金		
資本準備金	24,155	24,155
資本剰余金合計	24,155	24,155
利益剰余金		
利益準備金	120,197	120,197
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	49,672	45,237
別途積立金	300,000	300,000
繰越利益剰余金	1,622,037	1,798,871
利益剰余金合計	2,091,907	2,264,306
自己株式	△112,637	△113,023
株主資本合計	2,567,625	2,739,638
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,056	19,895
評価・換算差額等合計	13,056	19,895
純資産合計	2,580,682	2,759,534
負債純資産合計	5,923,128	6,021,988

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
売上高		
劇場収入	1,364,646	1,580,499
不動産賃貸収入	2,011,944	2,029,603
その他の収入	195,365	161,214
売上高合計	3,571,956	3,771,317
営業原価		
劇場原価	1,293,623	1,438,393
不動産賃貸原価	1,579,336	1,594,831
その他の原価	103,391	67,311
営業原価合計	2,976,351	3,100,537
営業総利益	595,605	670,780
一般管理費	312,976	369,235
営業利益	282,628	301,544
営業外収益		
受取利息	3,866	6,505
受取配当金	591	960
違約金収入	759	4,964
保険返戻金	-	2,039
負担金収入	7,100	-
雑収入	2,634	463
営業外収益合計	14,951	14,931
営業外費用		
支払利息	5,385	4,899
雑支出	18	21
営業外費用合計	5,403	4,920
経常利益	292,176	311,555
特別損失		
固定資産除却損	29,379	34,020
特別損失合計	29,379	34,020
税引前当期純利益	262,797	277,534
法人税、住民税及び事業税	87,092	90,894
法人税等調整額	21,146	△13,639
法人税等合計	108,238	77,255
当期純利益	154,558	200,279

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金
当期首残高	564,200	24,155	24,155	120,197
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	564,200	24,155	24,155	120,197

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	57,376	300,000	1,487,657	1,965,230	△112,167	2,441,419
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩	△7,704		7,704	—		—
剰余金の配当			△27,881	△27,881		△27,881
当期純利益			154,558	154,558		154,558
自己株式の取得					△469	△469
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	△7,704	—	134,380	126,676	△469	126,206
当期末残高	49,672	300,000	1,622,037	2,091,907	△112,637	2,567,625

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	8,284	8,284	2,449,703
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩			—
剰余金の配当			△27,881
当期純利益			154,558
自己株式の取得			△469
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,772	4,772	4,772
当期変動額合計	4,772	4,772	130,978
当期末残高	13,056	13,056	2,580,682

当事業年度（自 2025年2月1日 至 2026年1月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		利益剰余金
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金
当期首残高	564,200	24,155	24,155	120,197
当期変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	－	－	－	－
当期末残高	564,200	24,155	24,155	120,197

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	49,672	300,000	1,622,037	2,091,907	△112,637	2,567,625
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩	△4,434		4,434	—		—
剰余金の配当			△27,880	△27,880		△27,880
当期純利益			200,279	200,279		200,279
自己株式の取得					△386	△386
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	△4,434	—	176,834	172,399	△386	172,013
当期末残高	45,237	300,000	1,798,871	2,264,306	△113,023	2,739,638

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	13,056	13,056	2,580,682
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩			－
剰余金の配当			△27,880
当期純利益			200,279
自己株式の取得			△386
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	6,839	6,839	6,839
当期変動額合計	6,839	6,839	178,852
当期末残高	19,895	19,895	2,759,534

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年2月1日 至 2025年1月31日)	当事業年度 (自 2025年2月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	262,797	277,534
減価償却費	293,013	294,909
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△80	△730
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,400	100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,219	△1,480
受取利息及び受取配当金	△4,457	△7,465
支払利息	5,385	4,899
固定資産除却損	29,379	34,020
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	5,265	△1,407
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△8,253	5,177
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,525	△1,495
未払金の増減額 (△は減少)	14,075	26,002
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,763	81,481
その他	△8,272	9,606
小計	613,760	721,154
利息及び配当金の受取額	4,187	7,153
利息の支払額	△5,491	△4,981
法人税等の支払額	△85,532	△92,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	526,924	630,645
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△345,098	△290,872
無形固定資産の取得による支出	-	△1,865
短期貸付金の増減額 (△は増加)	73,249	△54,056
差入保証金の増減額 (△は増加)	△39,739	△9,026
受入保証金の増減額 (△は減少)	26,364	57
その他	△26,516	△30,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,741	△385,924
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100,000	62,500
長期借入れによる収入	-	20,000
長期借入金の返済による支出	△75,000	△251,250
配当金の支払額	△27,881	△27,880
その他	△469	△386
財務活動によるキャッシュ・フロー	△203,351	△197,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,831	47,704
現金及び現金同等物の期首残高	75,248	87,080
現金及び現金同等物の期末残高	87,080	134,784

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「保険差益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より「営業外収益」の「雑収入」に含めて表示しております。また、「営業外収益」の「雑収入」に含めて表示しておりました「違約金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記しております。これらの表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において「営業外収益」に表示していた「保険差益」1,709千円及び「雑収入」1,684千円は、「違約金収入」759千円及び「雑収入」2,634千円として組み替えております。

(追加情報)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に公布されました。これに伴い、当社では、第131期(2027年2月1日から2028年1月31日まで)以降に解消が予定される一時差異に対応する法定実効税率を30.6%から31.5%に変更し、計算しております。

なお、これによる当事業年度への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は提供するサービスの種類ごとに「シネマ・アミューズメント事業」、「不動産事業」の2事業を報告セグメントとしております。

「シネマ・アミューズメント事業」は、映画興行並びにその付帯事業及びゲームセンターの経営を、「不動産事業」はテナント賃貸事業並びにその付帯事業をそれぞれ行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度(2024年2月1日から2025年1月31日まで)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,364,646	—	1,364,646	—	1,364,646
ビル共益費等収入	—	394,998	394,998	—	394,998
娯楽場及びその他事業収入	165,624	29,741	195,365	—	195,365
顧客との契約から生じる収益	1,530,270	424,740	1,955,011	—	1,955,011
その他の収益	—	1,616,945	1,616,945	—	1,616,945
外部顧客への売上高	1,530,270	2,041,686	3,571,956	—	3,571,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,530,270	2,041,686	3,571,956	—	3,571,956
セグメント利益	151,576	444,028	595,605	△312,976	282,628
セグメント資産	448,324	4,636,054	5,084,378	838,749	5,923,128
その他の項目					
減価償却費	99,747	182,133	281,880	11,132	293,013
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	132,857	223,170	356,028	4,083	360,111

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費（全社費用）であります。
 - (2)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産（現金及び預金、短期貸付金等）であります。
 - (3)減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
 - (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は全社資産の設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当事業年度(2025年2月1日から2026年1月31日まで)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,580,499	—	1,580,499	—	1,580,499
ビル共益費等収入	—	390,992	390,992	—	390,992
娯楽場及びその他事業収入	131,579	29,634	161,214	—	161,214
顧客との契約から生じる収益	1,712,078	420,627	2,132,706	—	2,132,706
その他の収益	—	1,638,610	1,638,610	—	1,638,610
外部顧客への売上高	1,712,078	2,059,238	3,771,317	—	3,771,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,712,078	2,059,238	3,771,317	—	3,771,317
セグメント利益	224,729	446,050	670,780	△369,235	301,544
セグメント資産	502,700	4,544,408	5,047,108	974,879	6,021,988
その他の項目					
減価償却費	98,281	186,772	285,053	9,855	294,909
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	100,225	145,935	246,160	32,204	278,364

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費（全社費用）であります。
- (2)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産（現金及び預金、短期貸付金等）であります。
- (3)減価償却費の調整額は、主に報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は全社資産の設備投資額であります。

2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(持分法損益等)

関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)		当事業年度 (2025年2月1日から 2026年1月31日まで)	
1株当たり純資産額	925.62円	1株当たり純資産額	989.80円
1株当たり当期純利益	55.44円	1株当たり当期純利益	71.84円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前事業年度 (2025年1月31日)	当事業年度 (2026年1月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,580,682	2,759,534
純資産の部の合計額と1株当たり 純資産額の算定に用いられた普通 株式に係る純資産額との差額 (千円)	—	—
普通株式に係る純資産額(千円)	2,580,682	2,759,534
普通株式の発行済株式数(株)	2,821,000	2,821,000
普通株式の自己株式数(株)	32,939	33,034
1株当たり純資産額の算定に用い られた普通株式の数(株)	2,788,061	2,787,966

2 1株当たり当期純利益

	前事業年度 (2024年2月1日から 2025年1月31日まで)	当事業年度 (2025年2月1日から 2026年1月31日まで)
当期純利益(千円)	154,558	200,279
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	154,558	200,279
普通株式の期中平均株式数(株)	2,788,090	2,788,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。